

どうしてはっきり言わないんだろう？

酪農学園大学 藤田佳也

普段の生活のなかで意識することはほとんどありませんが、わたしたちの周りには間接的な表現がたくさん存在しています。トイレのことを「お手洗い」と言ってみたり、なかなか考え方を変えない人のことを「石頭」と言ってみたり、怒鳴ることを「雷を落とす」と言ってみたり。一方、文学のなかでも、印象に残る間接的な表現がたくさん用いられています。たとえば、シェイクスピアは「若い時」を表すのに“salad days”という表現を使いました。時代も場所もずいぶん離れた作家の言葉ですが、サラダという身近なものが使われていることもあって、細かいことは抜きにして、なんとなくしっくりくる表現ですね。どうしてこのような間接的な表現を用いるのか？ 間接的な表現を用いることで、どのようなことが起こるのか？ イギリス文学の例をみながら、一緒に考えてみましょう。